

[平成21年度設置]

計画の区分:研究科の専攻設置

茨城大学大学院 人文科学研究科 文化科学専攻

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 茨城大学 平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 専門員・宇野 照雄

電話番号 029-228-8009

(夜間) 029-228-8009

F A X 029-228-8019

e —mail uno@mx.ibaraki.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、

その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(口口学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合:「○○大学 ○○学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 ○○学部 ○○学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 ○○学科」

・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 ○○学部 ○○学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

		ペーシ
1	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1
5	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国 立 大 学 法 人 茨 城 大 学

(2) 大 学 名

茨 城 大 学

(3) 大学の位置

〒310-8512 茨城県水戸市文京二丁目1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。 ・ 様式は、平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合 には、欄を設けてください。)
- (4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等	設	置時の計	備	考	
の名称(学位)	修業年限	入学定員	収容定員	1)用	75
人文科学研究科 文化科学専攻 修士(学術)	年 2	13	人	基礎となる学部: 人文学部 人文コミュニケ・	

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

<u> </u>	報告年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備	考
Α	入学定員	(-) 13	(-) 13	倍 1.34		
	志願者数	(2) 15	(2) 41			
	受験者数	(1) 13	(2) 39			
	合格者数	(1) 12	(2)			
В	入学者数	(1) 12	(1) 23			
7	【学定員超過率 B╱A	(-) 0. 92	(–) 1. 76			

- (注)・()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入し てください。
 - ・「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してくだ さい。<u>入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均</u> <u>入学定員超過率も同様</u>の方法としてください。
 - 「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - 「平成20~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度学 年	平成21年度	平成22年度	備考
1 年次	[5] 12	[12] 23	
2 年次	[0]	[5] 12	
3 年次	[-]	[-]	
計	[5] 12	[17] 35	

- (注) []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入し てください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数(a)		入学者数(b)	入学者に対す 退学者数の割 (a/b)	
	うち平成19年度入学者	[0] 0 一人	計 うち平成19年度	[5] 12 一人	[0%] 0%
平成21年度	うち平成20年度入学者 うち平成21年度入学者 (主な退学理由)	<u>-人</u> -人	うち平成20年度	12人		
	計	[0] 0	計	[17] 35		
	うち平成19年度入学者	一人	平成19年度	一人	Г	0%]
	うち平成20年度入学者	一人	平成20年度	一人	L	0%
平成22年度	うち平成21年度入学者	0人	平成21年度	12人		
1	うち平成22年度入学者	人0	平成22年度	23人		
	(主な退学理由)					

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において 教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下・学力不足・他の教育機関への入学・転学・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文科学研究科 文化科学専攻>

(1) 授業科目表

						È	单位数	效		専任教	員等	の配置	1	
					配当		\22	ŀ	+/L		=#	-	ż	
		科目	区 分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	備 考
					次	修	択	由	授	授	師	教	手	
-				 地球環境システム論 I	1.0		1							
共	大			地球環境システム論 I 持続社会システム論 I	1·2 1·2		1							
	学			人間システム基礎論 I	1.2		1							
通	院共	其般	隆養成科目	学術英会話	1.2		2							
	共通	25.0	18/8/17 [学校教育基礎論	1.2		2							
科	科目			科学と倫理	1.2		2							
14	ľ			学術情報リテラシー	1.2		1							
		甘杂类		人文社会科学基礎論 I	1		1							
目	研	基盤養 成科目	専門基盤科目	人文社会科学基礎論Ⅱ	1		1							
	究			英語講読	1.2		2							休講(22)隔年 開講
		+		英作文	1.2		2							
	科	1 11		英会話	1.2		2							
	共	ア	外国語	ドイツ語表現法	1.2		2							
	.=	支 援		フランス語表現法	1.2		2							
	通	科		中国語表現法	1.2		2							
	科	目	□ + = = =	日本語表現法 I	1.2		2							
	目		日本語	日本語表現法Ⅱ	1.2		2							
	l		インターンシップ゜	インターンシップ	1.2		2							
			123-2297	実践的キャリアデザイン論	1.2		2							
			高度情報処理	高度情報処理			2							
Ę	專	基	専						4					平成21年3月31日准教授退職 平成21年4月1日教授昇進
	-	don.	-	人間科学基盤演習	1		2		3	4				平成22年4月1日専任教員の配置
I	攵	盤	門	歴史・文化遺産基盤演習	1		2		5	3				
•	^	養	基						11					平成23年3月31日退職予定教授の
- €	뒥	成	盤	文芸•思想基盤演習	1		2		10	5				追加増
1	7	13%	m	言語科学基盤演習	1		2		3	3				
Ι.	_	科	演	異文化コミュニケーション基盤演習	1		2		5	3	1			
	∄		習						4	3				平成21年4月1日教授•准教授昇進
				メディア文化基盤演習	1		2		3	2	4			
		研	7	【人間文化コース】					25					平成21年3月31日准教授退職
			研究	人間文化研究法	1		2		21	15				平成21年4月1日教授昇進
		究	支											平成22年4月1日専任教員の配置
		推	究支援科目											平成23年3月31日退職予定教授の 追加増
			11 1 目	【コミュニケーションコース】					7	6	1			平成21年4月1日准教授昇進
		進		コミュニケーション研究法	1		2		8	5	2	L		平成23年3月31日教授退職
		科		【人間文化コース】										
		l	専	(人間科学分野)										
			門	行動機構論研究 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			1 1	行動機構論研究Ⅱ	1.2		2			1				
			科	行動機構論演習 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			目	行動機構論演習Ⅱ	1·2 1·2		2			1				
			I	認知行動論研究 I			2		1					休講(22)隔年開講
				認知行動論研究Ⅱ			2		1					
				認知行動論演習Ⅰ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
				認知行動論演習Ⅱ	1.2		2		1					T-00/54 D :
		心理臨床論研究I		1.2		2			1				平成22年4月1日専任教員の配置	

中						È	単位数	汝]	専任教	員等	の配置	<u> </u>	
京					配当	. 21	`55	J	±⊩	·#-	=#	п.	마]
中 研	科	4 目 [区 分	授業科目の名称	年	必	選	Ħ	教		蔣	助	旫	備 考
中					次	修	択	由	授	授	師	教	手	
専	i			心理防亡於研究可	1 0		_			4				平成22年4月1日専任教員の配置
次 次 次 次 次 次 次 次 次 次	由	ZΠ	审											
攻 推 利	•		-		1.2		2			1				平成22年4月1日専任教員の配置 平成22年4月1日専任教員の配置
# 社会行動論研究 I 1-2 2 1 1		究	門	心理臨床論演習Ⅱ 	1.2		2			1				
科 進 日 社会行動論演習 I 1・2 2 1 1		推	科						1					
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科	准	目						-					休講(22)隔年開講
日									-					仕 達(22)隔年間達
		科								4				平成21年4月1日教授昇進
行動文化論演習 I 1・2 2 1 1 4 中級21年4月1日数		目												
行動文化論演習														
1-2 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 1 1 1-2 2 1 1 1-2 1 1 1 1-2														
生涯発達論研究 I 1・2 2 1 1				行動文化論演習 Ⅱ 	1.2		2		1	4				
生涯発達論演習 I 1・2 2 1 1 快減22編年開選 PR 22年4月19年 PR 22年 PR				生涯発達論研究 I	1.2		2			1				平成22年4月1日専任教員の配置
生涯発達論演習 I 1・2 2 1 1 特殊22編年開辦 特殊22編年開辦 特殊22編年開辦 特殊22編年開辦 特殊22編年開辦 特殊22編年開辦 1・2 2 1 1				生涯発達論研究Ⅱ	1.2		2			1				平成22年4月1日専任教員の配置 休講(22)隔年開講
現代社会論研究 I				生涯発達論演習 I	1.2		2			1				平成22年4月1日専任教員の配置
現代社会論研究 I 1・2 2 1 1 技事との				生涯発達論演習 Ⅱ	1.2		2			1				平成22年4月1日専任教員の配置 休講(22)隔年開講
現代社会論演習 I 1・2 2 1 1				┃ 現代社会論研究 Ⅰ	1.2		2			1				
現代社会論演習 1・2 2 1 1				現代社会論研究Ⅱ	1.2		2			1				
文化人類学研究 I				現代社会論演習 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
文化人類学研究 I 1・2 2 1 1					1.2		2			1				
文化人類学演習 I 1・2 2 1 1														
文化人類学演習 I (歴史・文化遺産分野) 1・2 2 1 (株演(22)隔年開課 考古学 I 表古学 I 日本考古学 I 日本考古学 I 日本考古学 I 日本考古学 I 日本考古学 I 日本考古文化論 I 中国考古文化論 I 中国考古文化論 I 日本考古学 I 日本方学 I 日本方学 I 日本文化 D I 日本方代中世史 I 日本方代中世史 I 日本古代中世史 I 日本古代中世史 I 日本古代中世史 I 日本古代中世史 I 日本社会文化 D I 日本社会文 D I I 日本社会文 D I I 日本社会文 D I I 日本社会文 D I I I 日本社会文 D I I I I I I I I I I I I I I I I														休講(22)隔年開講
(歴史・文化遺産分野) 表古学 I									-					休謙(22)隔在閱講
考古学 I					1 2				'					kinda(ee)lin II. Nijdia
日本考古学 I 1・2 2 1 1 株講(22)隔年開講 株式(22)隔年開講 日本文化史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本文化史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本社会文化史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本社会文化史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本社会史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本社会史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本社会史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本近世史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本近世史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本近世史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本近現代史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本近現代史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 日本近現代史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 株式(22)隔年開講 日本近現代史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講 株式(22)隔年開講 日本近現代史 I 1・2 2 1 株式(22)隔年開講					1.2		2			1				
日本考古学 I				考古学Ⅱ	1.2		2			1				
中国考古文化論 I 1・2 2 1 1					1.2		2			1				休講(22)隔年開講
中国考古文化論 II 1・2 2 1 休講(22)隔年開講 中国考古学 II 1・2 2 1 休講(22)隔年開講 中国考古学 II 1・2 2 1 休講(22)隔年開講 日本文化史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本文化史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本古代中世史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本社会文化史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本社会史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本社会史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本近世史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本近現代史 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本近東京 II 1・2 2 1 (株講(22)隔年開講 日本近東京 II 1・2										1				休講(22)隔年開講
中国考古学 I 1・2 2 1 1 株講(22)隔年開講 トン 2 1 日本古代中世史 I 1・2 2 1 日本社会文化史 I 1・2 2 1 日本社会文化史 I 1・2 2 1 日本社会文化史 I 1・2 2 1 日本社会史 I 1・2 2 1 日本社会史 I 1・2 2 1 日本社会史 I 1・2 2 1 日本近世史 I 1・2 2 1 日本近世史 I 1・2 2 1 日本近世史 I 1・2 2 1 日本近現代史 I 1・2 2 1 株講(22)隔年開講									-					
中国考古学 II									-					☆ 謙(22)隔午閱議
日本文化史 I									-					
日本古代中世史 I 1・2 2 1 1									-					
日本古代中世史 II 1・2 2 1 1									1					
日本社会文化史 I 1・2 2 1 1				日本古代中世史 I	1.2		2		1					
日本社会文化史 II 1・2 2 1 1									1					
日本社会史 I														休講(22)隔年開講
日本社会史 II 1・2 2 1 1 日本近世史 I 1・2 2 1 日本近現代史 I 1・2 2 1 休講(22)隔年開講														仕誰(00)原左即誰
日本近世史 I 1・2 2 1										_				
日本近世史 II 1・2 2 1 1 休講(22)隔年開講 日本近現代史 I 1・2 2 1 1									1	'				
日本近現代史 I 1・2 2 1 日本近現代史 I 1・2 2 1 ユーラシア歴史文化論 I 1・2 2 1 ユーラシア歴史文化論 I 1・2 2 1 ユーラシア歴史社会論 I 1・2 2 1 オーラシア歴史社会論 I 1・2 2 1														休講(22)隔年開講
ユーラシア歴史文化論 I 1・2 2 1 株講(22)隔年開講 ユーラシア歴史文化論 I 1・2 2 1 株講(22)隔年開講 ユーラシア歴史社会論 I 1・2 2 1 株講(22)隔年開講					1.2		2		1					
ユーラシア歴史文化論 I 1・2 2 1 株講(22)隔年開講 ユーラシア歴史社会論 I 1・2 2 1 I I				日本近現代史Ⅱ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
ユーラシア歴史社会論 I 1·2 2 1									1					
									-					休講(22)隔年開講
【														
ユーラシア歴史社会論 I 1·2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										1				休謙(22)隔 年 閱議
アジア歴史社会論 I														

					È	单位参	汝		専任教	対員等	の配置	<u> </u>	
				配当	יני.	` 55	_	±/-	·#-	=±.	D+	п+	
j	科目	区 分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	備 考
				次	修	択	由	授	授	師	教	手	
			アジア歴史社会論 II	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
_		専	ラーロッパ歴史文化論 I	1.2		2		1	•				休講(22)隔年開講
専	研	47	ヨーロッパ歴史文化論Ⅱ	1.2		2		1					
	究	門	ヨーロッパ近現代史 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
攻	推	科	ヨーロッパ近現代史 Ⅱ	1.2		2		1					
	班		(文芸・思想分野)										
科	進	目	日本思想史研究 I	1.2		2		1					
	科		日本思想史研究Ⅱ	1 · 2		2		1					休講(22)隔年開講
目			日本思想史演習 I	1.2		2		1					
	目		日本思想史演習Ⅱ	1 · 2		2		1					休講(22)隔年開講
			古典哲学研究 I	1 · 2		2		1					
			古典哲学研究Ⅱ	1.2		2		1					
			古典哲学演習 I	1.2		2		1					
			古典哲学演習Ⅱ	1.2		2		1					
			現代哲学研究 I	1 · 2		2		1					
			現代哲学研究Ⅱ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			現代哲学演習I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			現代哲学演習Ⅱ	1.2		2		1					
			美術史学 I	1.2		2			1				
			美術史学Ⅱ	1.2		2			1				
			日本古典·近代語研究 I	1.2		2			1				
			日本古典・近代語研究Ⅱ	1.2		2			1				
			日本古典·近代語演習 I	1.2		2			1				
			日本古典・近代語演習Ⅱ	1.2		2			1				
			日本古典文学研究Ⅰ	1.2		2		1					
			日本古典文学研究Ⅱ	1.2		2		1					
			日本古典文学演習 I 日本古典文学演習 II	1·2 1·2		2		1					
			日本古典义字演省 II 日本近代文学研究 I			2		1					
			日本近代文学研究Ⅱ	1·2 1·2		2		1					
			日本近代文学演習 I	1.2		2		1					
			日本近代文字演習Ⅱ	1.2		2		1					
			中国古代言語文学研究 [1.2		2		'	1				
			中国古代言語文学研究 II	1.2		2			1				
			中国古代言語文学演習 [1.2		2			1				
			中国古代言語文学演習 II	1.2		2			1				
			中国近現代言語文学研究 I	1.2		2			1				
			中国近現代言語文学研究Ⅱ	1.2		2			1				
			中国近現代言語文学演習 I	1.2		2			1				
			中国近現代言語文学演習Ⅱ	1.2		2			1				
			中国古代文化研究 I	1.2		2		1					
			中国古代文化研究Ⅱ	1 · 2		2		1					
			中国古代文化演習 I	1.2		2		1					
			中国古代文化演習 Ⅱ	1.2		2		1					
			ドイツ近代言語文学研究 I	1.2		2		1					
			ドイツ近代言語文学研究 Ⅱ	1 · 2		2		1					
			ドイツ近代言語文学演習 I	1.2		2		1					
			ドイツ近代言語文学演習 Ⅱ	1 · 2		2		1					
			ドイツ現代言語文学研究 I	1 · 2		2		1					
			ドイツ現代言語文学研究 Ⅱ	1.2		2		1					
			ドイツ現代言語文学演習Ⅰ	1.2		2		1					
			ドイツ現代言語文学演習 Ⅱ	1.2		2		1					
			ドイツ語講読Ⅰ	1.2		2		1					
			ドイツ語講読Ⅱ	1.2		2		1					

					È	単位数	汝		専任教	対員等	の配置	=	
				配当	,	\==	_	ابد	.,,	=++	-	-	1
;	科目	区 分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	備 考
				次	修	択	由	授	授	師	教	手	
	1		I' ANGELIA T	1.0		_		_					
		+	ドイツ語作文 I ドイツ語作文 II	1·2 1·2		2		1					
専	研	専	フランス近代言語文学研究 I	1.2		2		l '	1				
	究	門	フランス近代言語文学研究Ⅱ	1.2		2			1				
攻		∓ :I	フランス近代言語文学研究 I	1.2		2			1				
	推	科	フランス近代言語文子演員Ⅰ	1.2		2			1				
科	進	目	フランス現代言語文学研究 I	1.2		2		1	'				休講(22)隔年 開 講
	T.1		フランス現代言語文学研究Ⅱ	1.2		2		1					P1-013-(22-)110-7-1010 013
目	科		フランス現代言語文学演習 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
	目		フランス現代言語文学演習Ⅱ	1.2		2		1					T
			フランス美術史	1.2		2		'	1				
			フランス美術史Ⅱ	1.2		2			1				
			フランス語講読	1.2		2		1	·				休講(22)隔年開講
1			フランス語講読Ⅱ	1.2		2		l	1				
1			フランス語作文 I	1.2		2			Ĭ .				
I			フランス語作文Ⅱ	1.2		2							
1			イギリス言語文学研究 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
1			イギリス言語文学研究 II	1.2		2		1					
			イギリス言語文学演習Ⅰ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			イギリス言語文学演習 Ⅱ	1.2		2		1					T
			アメリカ近代言語文学研究 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			アメリカ近代言語文学研究 Ⅱ	1.2		2		1					
			アメリカ近代言語文学演習 I	1.2		2		1					
			アメリカ近代言語文学演習Ⅱ	1.2		2		1					
			アメリカ現代言語文学研究Ⅰ	1.2		2		1					
			アメリカ現代言語文学研究Ⅱ	1.2		2		1					
			アメリカ現代言語文学演習 I	1.2		2		1					
			アメリカ現代言語文学演習Ⅱ	1.2		2		1					
			(言語科学分野)										
			記述言語学研究 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			記述言語学研究Ⅱ	1.2		2		1					
			記述言語学演習 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			記述言語学演習Ⅱ	1.2		2		1					
			言語理論研究 I	1.2		2			1				
1			言語理論研究Ⅱ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
1			言語理論演習 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
I			言語理論演習Ⅱ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
1			対照文法研究 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
1			対照文法研究Ⅱ	1.2		2		1					
1			対照文法演習I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
1			対照文法演習Ⅱ	1.2		2		1					
1			認知言語学研究 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
I			認知言語学研究Ⅱ	1.2		2		1					
1			認知言語学演習 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
1			認知言語学演習Ⅱ	1.2		2		1					
1			英語学研究 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
1			英語学研究Ⅱ	1.2		2			1				
1			英語学演習 I	1 · 2		2			1				休講(22)隔年開講
1			英語学演習 Ⅱ	1.2	ĺ	2			1				
			英文法論研究 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			英文法論研究Ⅱ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			英文法論演習 I	1.2		2			1				
1			英文法論演習 Ⅱ	1.2		2			1				
	<u> </u>		【コミュニケーションコース】										
	•		•	_	•			_	•	•		•	-

					È	单位数	汝]	専任教	対員等(の配置	<u> </u>	
7	科目	Ӡ分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
			(異文化コミュニケーション分野)										
		専	異文化理解とコミュニケーション	1.2		2		1					
専	研	•	多文化共生のコミュニケーション	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
	究	門	地域国際交流論	1.2		2		1					
攻	1#	科	国際交流実践論	1.2		2			1				
	推		グローバル・イシュー研究	1.2		2			1				
科	進	目	国際協力の事例研究	1.2		2			1				
	科		国際協力における日本の役割	1.2		2			1				
目	117		多言語社会と言語紛争	1.2		2		1					
	目		言語政策論	1.2		2		1					
			多文化・多言語の接触	1.2		2		1	1				
			異文化接触と文化の生成	1.2		2		1					
			日中文化比較論	1.2		2		1					
			日韓(朝)文化交流の歴史と現状	1.2		2			1				
			日韓(朝)文化交流の理論と実践	1.2		2			1				
			日本・アジア対照研究	1.2		2		1					
			国際協力のための言語教育と実践	1 · 2		2		1					
			Language and Culture in English-speaking countries	1.2		2		1					
			Teaching Media English	1.2		2				1			
			Canadian Studies	1.2		2		1					
			(メディア文化分野)										
			現代ジャーナリズム論	1 · 2		2		1					
			ヨーロッパ映画論	1.2		2		1					
			広告コミュニケーション論	1.2		2			1	4			平成21年4月1日准教授昇進
			情報メディア論	1 · 2		2							休講(22)隔年開講
			情報とコミュニケーション	1 · 2		2			1				
			近代日本メディア史	1.2		2			1	4			平成21年4月1日准教授昇進
			放送メディア論	1.2		2		1					
			新しい情報技術とコミュニケーション革命	1 · 2		2		1					
			マスコミュニケーションと現代社会	1.2		2		1					
			コミュニケーションの社会学	1.2		2			1				
			メディアと教育	1.2		2		1					
			マルチメディアと学習環境のデザイン	1.2		2		1					
			コミュニケーションデータ分析	1.2		2			1				
	研究排	旨導科目						32	21				
			課題研究演習I	2	2			29	20	2			- 退職・昇進・採用による異動
								32	21				
			課題研究演習Ⅱ	2	2			29	20	2			J

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 - ・設置時の授業科目全て (兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載いただき, 設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

Ī	設 置 時 の 計 画				変更	状 況		備	考
必修	選択	自由	計	必 修	選択	自由	計	1)#I	<i>7</i> 5
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
2	224	0			224	0	226		
				[0]	[0]	[0]	[0]		

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	※該当なし					
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	※該当なし					
2						
3						

(注)	・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)	した授業科目について記入
	してください。なお、理由については可能な限り具体的	に記入してください	10

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(-)			

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目と廃止科目の計
 0
 =
 0

 設置時の計画の授業科目数の計
 226
 0

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	茨	城大	学							備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学定員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設年 度	所ィ	生 地		
	年	人	年次	人	12 12 2	倍					
			人								
人文学部								水戸市文	て京2−1−1		
人文コミュニケーション学科	4	170	_	680	学士(人文科学)	1. 06	平成18				
社会科学科	4	225	_	900	学士 (社会科学)	1. 07	平成 4				
教育学部								水戸市文	て京2-1-1		
学校教育教員養成課程	4	215	_	860	学士 (教育学)	1. 08	平成11				
養護教諭養成課程	4	35	_	140	学士 (教育学)	1. 06	平成11				
情報文化課程	4	60	_	240	学士 (教養)	1. 04	平成11				
人間環境教育課程	4	40	_	160	学士(教養)	1. 04	平成11				
理学部	4		3年次					水戸市文	て京2−1−1		
理学科	4	205	10	840	学士 (理学)	1. 05	平成17				
工学部								日立市中原	龙沢4−12−1		
機械工学科	4	85	Π	340	学士(工学)	1. 11	平成17				
生体分子機能工学科	4	60		240	学士(工学)	1. 07	平成17				
マテリアル工学科	4	35		140	学士(工学)	1. 19	平成17				
電気電子工学科	4	75	3年次	300	学士(工学)	1. 08	平成17				
メディア通信工学科	4	45	- 45	180	学士(工学)	1. 23	平成17				
情報工学科	4	65		260	学士(工学)	1. 08	平成17				
都市システム工学科	4	50		200	学士(工学)	1. 07	平成17				
知能システム工学科	4	50		200	学士(工学)	1. 08	平成17				
" (夜間主コース)	4	40		160	学士(工学)	1. 06	平成17				
農学部	4							阿見町中	央3-21-1		
生物生産科学科	4	45	3年次	180	学士(農学)	1. 07	平成12				
資源生物科学科	4	35	20	140	学士(農学)	1. 09	平成12				
地域環境科学科	4	35		140	学士(農学)	1. 06	平成12				

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募 集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<人文科学研究科 文化科学専攻>

専任教員数

	設 置 時 の	計 画			変 更 丬	犬 況		備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	1佣 有
46	6	52	0	53	3	56	0	
(47)	(7)	(54)	(0)	[7]	[△3]	[4]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。

(記入例:1名減の場合:△1)

5 その他全般的事項

<人文科学研究科 文化科学専攻>

情報提供に関する事項

0 1	設置計画履行状況報告書									
а	ホームページに公表の有無	((有)		無)				
b	公表予定時期	(年	月	日)				
С	c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する・ 承諾しない)									
d	d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (http://www.ibaraki.ac.jp/jkoukai/houki/houki001.html)									

(注)・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。 なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

<u>※大学設置室メールアドレス: d-secchi@mext.go.jp</u> 件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。



[平成21年度設置]

計画の区分:研究科の専攻設置

茨城大学大学院 人文科学研究科 地域政策専攻

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 茨城大学 平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名

「専門員・宇野 照雄

電話番号 029-228-8009

(夜間) 029-228-8009

F A X 029-228-8019

e -mail uno@mx.ibaraki.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、

その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部

(口口学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合:「○○大学 ○○学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 ○○学部 ○○学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 ○○学部 ○○学科(通信教育課程)」

目 次

		ページ
1	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
4	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
5	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 0

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国 立 大 学 法 人 茨 城 大 学

(2) 大 学 名

茨 城 大 学

(3) 大学の位置

〒310-8512 茨城県水戸市文京二丁目1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。 ・ 様式は、平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合 には、欄を設けてください。)
- (4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等	設	置時の計	画	備考	
の名称(学位)	修業年限	入学定員	収容定員	1	
人文科学研究科 地域政策専攻 修士(学術)	年 2	人 12	人 24	基礎となる学部名等 人文学部 社会科学科	

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

<u> </u>	報告年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備	考
Α	入学定員	(-) 12	(-) 12	倍		
	志願者数	(2) 14	(0) 11			
	受験者数	(2) 13	(0) 11	0.00		
	合格者数	(1)	(0)	0. 62		
В	入学者数	(1)	(0) 7			
7	【学定員超過率 B∕A	(-) 0.66	(-) 0. 58			

- (注)・()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入し てください。
 - ・「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してくだ さい。<u>入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均</u> <u>入学定員超過率も同様</u>の方法としてください。
 - 「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - 「平成20~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成21年度	平成22年度	備考
1 年次	[5] 8	[3] 7	
2 年次	[0]	[5] 8	
3 年次	[-]	[-]	
計	[5] 8	[8] 15	

- (注) []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入し てください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数(a)		入学者数(k	o)	入学者に対す 退学者数の割 (a/b)	
平成21年度	計 うち平成19年度入学者 うち平成20年度入学者 うち平成21年度入学者 (主な退学理由)	[0] -人 -人 -人	計 うち平成19年度 うち平成20年度 うち平成21年度	[5] 8 一人 一人 8人	[0%] 0%
平成22年度	計 うち平成19年度入学者 うち平成20年度入学者 うち平成21年度入学者 うち平成22年度入学者 (主な退学理由)	[0]	計 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度	[8] 15 一人 一人 8人 7人	[0%] 0%

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において 教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下・学力不足・他の教育機関への入学・転学・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

2 授業科目の概要

<人文科学研究科 地域政策専攻>

(1) 授業科目表

					而口	Ě	单位	钕		専任教	員等	の配置	1	
		4J 🗆	Ε. Λ.	10 # 11 C O D Th	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	/ *** - **
		科目	区分	授業科目の名称	年		.—			教				備 考
					次	修	択	由	授	授	師	教	手	
				地球環境システム論 Ι	1.2		1							
共	大学			持続社会システム論 I	1.2		1							
	子院			人間システム基礎論 I	1.2		1							
通	共通	基盤	竖養成科目	学術英会話	1.2		2							
	通科			学校教育基礎論	1.2		2							
科	目			科学と倫理	1.2		2							
1				ディッグ ディスティック ディア ディスティ ディスティ ディスティ ディスティ ディスティ ディスティ アイ・アイ アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	1.2		1							
B		甘松茶		人文社会科学基礎論 I	1		1							
	研	基盤養 成科目	専門基盤科目	人文社会科学基礎論 🏻	1		1							
	究			英語講読	1.2		2							休講(22)隔年開講
		+		英作文	1.2		2							
	科	ャリ		英会話	1.2		2							
	共	ア	外国語	ドイツ語表現法	1.2		2							
		支		フランス語表現法	1.2		2							
	通	援科		中国語表現法	1.2		2							
	科	目		日本語表現法Ⅰ	1.2		2							
			日本語	日本語表現法Ⅱ	1-2		2							
	目			インターンシップ	1.2		2							
			インターンシップ	実践的キャリアデザイン論	1.2		2							
			高度情報処理	高度情報処理	1.2		2							
	l		III X III X III X	経済·経営基盤演習	1		2		7	3	2			平成22年4月1日専任教員配置
草	卓	基	専	ALDI ALIGNESCI			_		,	4	_			平成21年4月1日准教授不補充減
P	4	盤	門 基	国際社会基盤演習	1		2		3	6	2			平成21年4月1日専任教員配置
-	X	鯔	盤		'		_				-			平成22年4月1日教授不補充減
禾	4	養	演											平成22年4月1日教授昇進
	3	成	習											平成22年4月1日専任教員配置
-		13%								4				平成21年4月1日専任教員配置
		科		法律基盤演習	1		2		3	3	2			平成22年4月1日准教授昇進
		目			'		_			2	_			平成22年4月1日専任教員配置
				地域社会•福祉基盤演習	1		2		10	4				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
				【国際経済社会コース】	'		-		10	7				平成22年4月1日専任教員配置
		研	研	国際経済社会研究法	1		2		10	9	4			平成21年4月1日准教授不補充減
		究	研 究 支		· ·		_		10		_			平成21年4月1日専任教員配置
		7.	援											平成22年4月1日教授不補充減
		推	科											平成22年4月1日教授昇進
		進	目											平成22年4月1日専任教員配置
				 【地域法政策コース】						6				平成21年4月1日専任教員配置
		科		地域法政策研究法	1		2		13	4	2			平成22年4月1日准教授昇進
		目		- C MANAGEMENT										平成22年4月1日専任教員配置
				 特定地域政策課題研究	2		2		8	3	1			
			専	【国際経済社会コース】			-		ĺ					
			門	(経済・経営分野)										
				理論経済学研究I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			科	理論経済学研究Ⅱ	1.2		2			1				
			目	経済統計研究I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
				経済統計研究Ⅱ	1.2		2		1					
				経済政策研究 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
				経済政策研究Ⅱ	1.2		2			1				
				政治経済学研究 I	1.2		2		1	'				休講(22)隔年開講
				政治経済学研究Ⅱ	1.2		2		1					
ш				ᄴᄱᄣᄱᄑᄢᄱᄑ	' -									

				配	į	单位数	汝	1	専任教	負等	の配置	=	
	科目	区公	 授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	備考
	17 11	Б Л	技术符号の名称	年次					教				1/H 45
					修	択	由	授	授	師	教	手	
車	研	専	財政学研究Ⅰ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
		-	財政学研究Ⅱ	1.2		2		1					// -#/> n= (- nn -#
攻	究	門	金融論研究 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
以	推	科	金融論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			労働経済論研究 I	1.2		2		1					
科	進	目	労働経済論研究Ⅱ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
	科		経営学研究 I	1.2		2				1			教員採用により科目を追加(22)
目			(m) N/ N/										担当 牧 良明(講師)
	目		経営学研究Ⅱ	1.2		2				1			教員採用により科目を追加(22)
			47 24 40 4th = 0.7 m ct.										担当 牧 良明(講師)
			経営組織論研究 I	1.2		2				1			教員採用により科目を追加(22)
			√∨ 24 √ □ ∞ 1 0	1.0									担当 小坂 玄次郎(講師)
			経営組織論研究Ⅱ	1.2		2				1			教員採用により科目を追加(22)
			D + 42 :> TI do 1	1.0									担当 小坂 玄次郎(講師)
			日本経済研究Ⅰ	1.2		2		1					
			日本経済研究 Ⅱ マーケティング論研究 I	1.2		2		1					
			マーケティング 諦研究 I マーケティング 論研究 II	1.2		2							
			マーケティンク論研究』 管理会計論研究 I	1.2		2							休講(22)隔年開講
			官埋会計論研究 I 管理会計論研究 II	1·2 1·2		2			1				ドトロ冉(エエノドツ・十一円)品
			官理会計論研究』 監査論研究 I	1.2		2			l '				
			監査論研究Ⅱ	1.2				1					
			(国際社会分野)	1.2		2		1					
			(国际社会が野) アメリカ産業論研究 I	1.2		0			1				
			アメリカ産業論研究Ⅱ	1.2		2			1				
			アジア経済論研究Ⅰ	1.2		2		1	l '				
			アジア経済論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			現代資本主義論研究Ⅰ	1.2		2		1					
			現代資本主義論研究Ⅱ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			经济史研究 I	1.2		2		'	4	1			平成21年4月1日准教授不補充減
				' -		_			l '	l '			平成22年4月1日准教授昇進
													休講(22)隔年開講
			————————————————————————————————————	1.2		2			4	1			平成21年4月1日准教授不補充減
			1201323135										平成22年4月1日准教授昇進
			国際政治学研究Ⅰ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			国際政治学研究Ⅱ	1.2		2			1				
			アジア政治論研究 I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			アジア政治論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			アジア社会論研究Ⅰ	1.2		2		1	4				平成22年4月1日教授昇進
			アジア社会論研究Ⅱ	1.2		2		1	4				平成22年4月1日教授昇進
			ヨーロッパ社会史研究 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			ヨーロッパ社会史研究Ⅱ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			ヨーロッパ現代史研究 I	1.2		2			1				
			ヨーロッパ現代史研究 Ⅱ	1.2		2			1				
			社会地理学研究 I	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			社会地理学研究Ⅱ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			経済地理学研究 I	1.2		2				1			平成21年4月1日専任教員配置
			 経済地理学研究	1.2		2				1			平成21年4月1日専任教員配置 休講(22)隔年開講
			【地域法政策コース】										アの時(447)円 1円
			(法律分野)										
			憲法研究Ⅰ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			憲法研究Ⅱ	1.2		2			1				というはくとと、ということには、
			憲法研究A I	1.2		2		1	Ι΄.				休講(22)隔年開講
			民法研究AⅡ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			民法研究B I	1.2		2		l '	1	4			平成21年4月1日専任教員配置
			以仏明九ロ1	1.2					Ι'.				平成22年4月1日准教授昇進
													休講(22)隔年開講
			1										といいは、4年7月27年(井)の時

				配	È	单位多	数		専任教	負等	の配置	1	
	科目区分		 授業科目の名称		必	選	自	教	准	講	助	助	備者
	17 1	E //	1XX14 0 0 7 1111	年次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	HII
			民法研究BⅡ	1.2		2			1	1			平成21年4月1日専任教員配置
専	研	専											平成22年4月1日准教授昇進
	究	門	刑法研究 I	1.2		2				1			休講(22)隔年開講
攻			刑法研究Ⅱ	1.2		2				1			
	推	科	商法•経済法研究 [1.2		2			1				
科	進	目	商法・経済法研究Ⅱ	1.2		2			1				休講(22)隔年開講
			労働法研究 I	1.2		2		1					
目	科		労働法研究Ⅱ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
	目		社会保障法研究 I	1.2		2				1			休講(22)隔年開講
			社会保障法研究Ⅱ	1.2		2				1			
			行政法研究 I	1.2		2			1				
			行政法研究Ⅱ	1.2		2			1				
			比較法研究 I	1.2		2		1					
			比較法研究Ⅱ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			(地域社会・福祉分野)										
			地域社会論研究 I	1.2		2		1					
			地域社会論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			地域経済論研究 I	1.2		2		1					
			地域経済論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			農業経済論研究 I	1.2		2		1					
			農業経済論研究Ⅱ	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			地方自治論研究 I	1.2		2		1					
			地方自治論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			都市計画論研究 I	1.2		2		1					
			都市計画論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			消費社会論研究 I	1.2		2		1					
			消費社会論研究Ⅱ	1.2		2		1					
			環境社会学研究I	1.2		2			1				
			環境社会学研究Ⅱ	1.2		2			1				
			福祉政策論研究 I	1.2		2							
			福祉政策論研究Ⅱ	1.2		2							
			生活保障論研究 I	1.2		2			1				教員採用により科目を追加(22)
													担当 富江直子(准教授)
			生活保障論研究Ⅱ	1.2		2			1				教員採用により科目を追加(22)
													担当 富江直子(准教授)
			産業·労働社会学研究 I	1.2		2		1					
			産業·労働社会学研究 Ⅱ	1.2		2		1					
			家族社会学研究 I	1.2		2		1					
			家族社会学研究Ⅱ	1.2		2		1					
			社会システム論研究 I	1.2		2		1					
			社会システム論研究 Ⅱ	1.2		2		1					
			行政学研究I	1.2		2		1					休講(22)隔年開講
			行政学研究Ⅱ	1.2		2		1					
			公共政策論研究 I	1.2		2		1					
			公共政策論研究Ⅱ	1.2		2		1					
									12				平成21年4月1日准教授不補充
	研3	克指導科目	課題研究演習I	2	2			23	13	2			減
									12				平成21年4月1日退職・昇進に 伴う異動
			課題研究演習Ⅱ	2	2			23	13	2			」 计7共制

- (注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 - ・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2)授業科目数

	设置時(の計画			変更	状 況		備	考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	1)用	与
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
2	115	0	117	2	121	0	123		
				[0]	[6]	[0]	[6]		

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、 $[\]$ 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	※該当なし					
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	※該当なし					
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入 してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目と廃止科目の計
 0
 =
 0

 設置時の計画の授業科目数の計
 117
 0

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	茨	城大	学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
			人						
人文学部								水戸市文京2-1-1	
人文コミュニケーション学科	4	170	_	680	学士 (人文科学)	1. 06	平成18		
社会科学科	4	225	_	900	学士 (社会科学)	1. 07	平成 4		
教育学部								水戸市文京2-1-1	
学校教育教員養成課程	4	215	_	860	学士 (教育学)	1. 08	平成11		
養護教諭養成課程	4	35	_	140	学士 (教育学)	1. 06	平成11		
情報文化課程	4	60	_	240	学士(教養)	1. 04	平成11		
人間環境教育課程	4	40	_	160	学士(教養)	1. 04	平成11		
理学部	4		3年次					水戸市文京2-1-1	
理学科	4	205	10	840	学士(理学)	1. 05	平成17		
工学部								日立市中成沢4-12-	
機械工学科	4	85	П	340	学士(工学)	1. 11	平成17		
生体分子機能工学科	4	60		240	学士(工学)	1. 07	平成17		
マテリアル工学科	4	35		140	学士(工学)	1. 19	平成17		
電気電子工学科	4	75	3年次	300	学士(工学)	1. 08	平成17		
メディア通信工学科	4	45	45	180	学士(工学)	1. 23	平成17		
情報工学科	4	65		260	学士(工学)	1. 08	平成17		
都市システム工学科	4	50		200	学士(工学)	1. 07	平成17		
知能システム工学科	4	50		200	学士(工学)	1. 08	平成17		
" (夜間主コース)	4	40		160	学士(工学)	1. 06	平成17]
農学部	4							阿見町中央3-21-	
生物生産科学科	4	45	3年次	180	学士(農学)	1. 07	平成12		
資源生物科学科	4	35	- 20	140	学士(農学)	1. 09	平成12		
地域環境科学科	4	35		140	学士(農学)	1. 06	平成12		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募 集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<人文科学研究科 地域政策専攻>

専任教員数

	設 置 時 の	計 画			変 更 丬			備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	1佣 右
35	3	38	0	35	7	42	0	
(36)	(4)	(40)	(0)	[0]	[4]	[4]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。

(記入例:1名減の場合:△1)

5 その他全般的事項

<人文科学研究科 地域政策専攻>

情報提供に関する事項

0	設置計画履行状況報告書								
а	ホームページに公表の有無	((有)	•	無)			
b	公表予定時期	(年	月	日)			
С	c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する・ 承諾しない)								
d	d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (http://www.ibaraki.ac.jp/jkoukai/houki/houki001.html)								

(注)・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。 なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

<u>※大学設置室メールアドレス: d-secchi@mext.go.jp</u> 件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。